

# 南アフリカ為替週報

2021年11月25日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

＜過去1週間の動き＞ (11月18日～11月24日)

USD/ZAR: 15.4550～15.9750  
ZAR/JPY: 7.21～7.38 (参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場は、一方的な続落。対ドルでは連日安値を切り下げ、24日につけた15.9750は、昨年11月5日以来1年超ぶりの安値となった。対円では、同じく軟調ながらも、7.20水準を底に安値に膠着した。注目された18日の南ア準備銀金融政策委員会は、政策金利を3.50%から3.75%に25bp引き上げ。同利上げは、市場の過半が予想していたものの、据え置き予想とも拮抗しており、相応の意外感もある決定と言えた。しかし、利上げ発表後、ほぼ即座にランドは続落。利上げサイクルは「緩やか」になるとの声明や、利上げ決定が3対2の僅差だった点などが、想定以上に鳩派的、追加利上げは当面先、と言った読みを誘った模様。19日のランド続落は、同日、オランダが新型コロナ対策のロックダウンに(22日から)突入すると発表したのをきっかけに、欧州全域における行動制限、経済活動の低迷に対する警戒感が強まり、欧州株全般が下落、リスク回避の円高、新興市場通貨安につながった。同日中に対円で7.20近辺まで続落したランドだが、その後、対円では7.25を中心とした狭い値幅に膠着。ランド側に特段の材料は見当たらなかった。一方で、対ドルでは引き続き軟調推移が続いたが、こちらはドル高、もしくは新興市場通貨安の一環と考えられた。背景には、米連銀による利上げ前倒し観測の広がりがあつたが、米物価、消費などの上振れに加え、22日には、パウエル議長が再指名されたことが、ドル全面高を招いた。予想通りの決定ではあつたものの、ブレインード理事のような鳩派人材が議長に指名されることがあれば、利上げ前倒し観測が押し戻される可能性も想定されていたことから、市場は、ドルに強気と読んだようだ。

＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
11/18	13:11	南ア準備銀レボ金利		3.75%	3.75%	3.50%

(\*予想はブルームバーグ社予想中心値)

＜向こう1週間の見通し＞ (11月25日～12月1日)

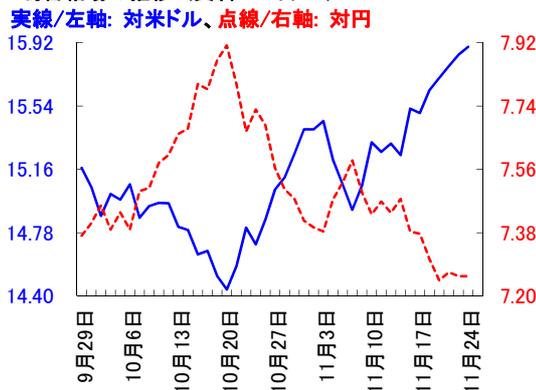
USD/ZAR: 15.700～16.050  
ZAR/JPY: 7.20～7.35

向こう1週間の南ア・ランド相場は、方向感に乏しい膠着を中心に見込みながら、底打ち反転の可能性を警戒する。この間、南ア準備銀利上げという材料はあつたものの、ランドはほとんど材料視せず、ランドの値動きは、リスク回避の新興市場通貨売りや、米連銀利上げ期待に基づくドル高など、通貨市場全般の方向感によって形成された。膠着を中心に見るのは、こうした材料(リスク回避や米利上げ期待)の消化が進み、影響力が弱まる可能性を想定するから。ひとつには米感謝祭休(24日)を通過して、米機関投資家の多くが年末の休暇体制に移行していくことが見込まれること。また、米利上げ開始のタイミングと言っても、もともと2023年以降と見込まれていたものが、米景気の力強い回復と並行して→22年末/23年初→22年末→22年央→22年第2四半期あたりまで前倒しされてきた。ただ、22年第2四半期から第1四半期への前倒しは、(あまりに目前のこと故)相応にハードルが高いたらうし、この先、米経済指標の思わぬ減速などが、一本調子で前倒しされてきた利上げ時期(の予想)を押し戻す可能性も考えられよう。コロナ禍に至っては、国によっては第4波、第5波と経験してきて、材料としては「コロナ慣れ」してしまっているのではなからうか。欧州株の低迷は、引き続き気掛かりなところだが、円の反落に読み取れるように、通貨市場では、材料として概ね消化されてしまったのではなからうか。

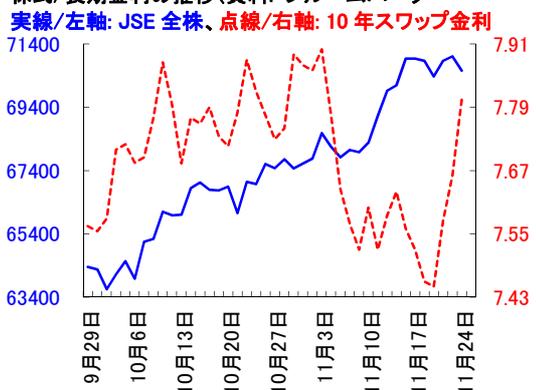
＜向こう1週間に発表予定の主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
11/30	6:00	民間部門信用(前年比)	10月			+1.60%
	9:30	失業率	Q3			34.4%
	12:00	貿易収支(ZAR)	10月			+22.2bn
	12:00	財政収支(ZAR)	10月			-7.3bn
12/1		自動車販売統計(前年比)	11月			+6.1%

為替相場の推移(資料:ロイター)



株式/長期金利の推移(資料:ブルームバーグ)



南アフリカ関係主要経済指標

政策金利(レボ金利)		3.50%
長期金利(10年スワップ)	11月24日	7.805%
株価指数(JSE全株)	11月24日	70558.89
成長率(GDP/前年比)	Q2	+19.3%
経常収支(ZAR)	Q2	+343bn
失業率	Q2	34.4%
消費者物価(前年比)	10月	+5.0%
小売売上高(前年比)	9月	+2.1%
製造業生産(前年比)	9月	+1.3%
鉱業生産(前年比)	9月	-3.4%
貿易収支(ZAR)	9月	+22.2bn
金価格(ロンドン 17:00)	11月24日	1789.20

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。